

浪速区を知る—でんでんタウン—

日本橋(にっぽんばし)2丁目から5丁目にある電気街。江戸時代、日本橋は紀州街道の入り口に位置し、堺筋から道頓堀を渡るところにかけられていました。長町と呼ばれ旅籠宿が並ぶ宿場町として栄えた日本橋筋は、明治の内国勧業博覧会以降、神田に並ぶ古本屋街を形成します。大阪大空襲で焼け、戦後はラジオや無線機、真空管などの中古電気部品を扱う店が繁盛し、電気の街とし発展していきます。東京の秋葉原と並ぶ電気街として、でんでんタウンの名で親しまれています。

『でんきのまち大阪日本橋物語』でんでんタウン協栄会 1996

*

『大阪人(OSAKA-JIN) 2007年6月 日本橋の逆襲』大阪市都市工学情報センター 2007 *

日本橋筋商店街振興組合 でんでんタウン オタロード(日本橋筋西通商店会)OFFICIAL WEBSITE 日本橋の歴史

<https://www.nippombashi.jp/history.php#section1>



日本橋

WEB「デジタルアーカイブ」→「簡易検索」→『日本橋』で検索

この調べかたガイドでは、浪速区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

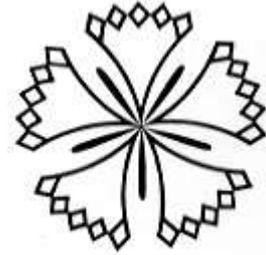
大阪市立図書館の「」(お問い合わせの際にお伝えください)浪速図書館に所蔵しているものは、書誌事項の後に*をつけて表示しています。(*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)小学生から読めるものは書誌事項の後に👤 オムリンマークをつけています。

WEB 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド:各区版

浪速区の調べかた



浪速区の花 なでしこ

浪速区の史跡・名勝・建築—通天閣—

浪速区の人物・伝説—折口信夫—

浪速区の民俗・文化—今宮戎神社—

浪速区を知る—でんでんタウン—

大阪市立浪速図書館

〒556-0015 大阪市浪速区敷津西1-5-23

TEL 06-6632-4946

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日

10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

●年末年始 ●蔵書点検期間

浪速区の調べかた

Ver. 6 2026. 3改訂

浪速区の史跡・名勝・建築—通天閣—

初代通天閣は、1912(明治45)年、産業振興のため開かれた内国勸業博覧会の跡地に遊園地ルナパークと共に建てられました。パリのエッフェル塔と凱旋門を模した姿で、ルナパークとの間がロープウェーで結ばれ人気をあつめました。通天閣は「天に通ずる塔」という意味で当時は日本一の高さを誇りましたが、1943(昭和18)年に火事で焼けたため解体されました。1956(昭和31)年再建された二代目通天閣は、高さ103メートルで、国の登録有形文化財に指定されています。2016(平成28)年には高さ108メートルとなりました。てっぺんにあるネオンは、晴れは白、くもりはオレンジ、雨は青と、天気知らせ、展望台にはビリケンさんが、通天閣の下には「阪田三吉記念王将碑」があります。

『大阪新名所新世界・通天閣写真帖』創元社 2012 *

『通天閣 -新・日本資本主義発達史-』酒井隆史著 青土社 2011 *

『通天閣 -人と街の物語-』読売新聞大阪本社社会部編 新風書房 2002 *

『通天閣 -50年の歩み-』通天閣観光 2007

『大阪モダン -通天閣と新世界-』橋爪紳也著 NTT出版 1996 *

『大阪春秋 88号 新世界』大阪春秋社 1997 *

『新修大阪市史 第6巻』新修大阪市史編集委員会/編 大阪市 1994 * p844

『大阪の歴史 - 史跡めぐり-(岩波ジュニア新書 160)』岡本良一著 岩波書店 1989 * 

浪速区ホームページ

<https://www.city.osaka.lg.jp/naniwa/page/0000000985.html>

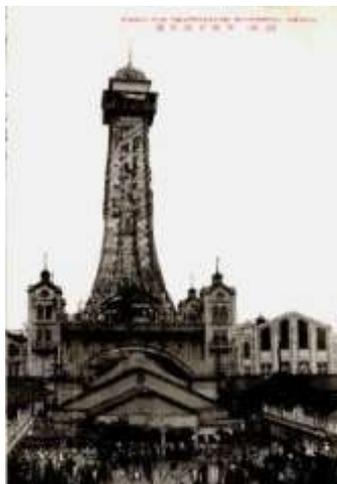
・大阪市浪速区: 通天閣(浪速区情報>区内の名所・旧跡)

「浪速図書館」→「浪速区を知る」
「郷土史よくある質問」→
「通天閣のあたりにあったという
ルナパークとはなんですか」

(大阪)新世界通天閣

WEB「デジタルアーカイブ」→

「簡易検索」→『通天閣』で検索

浪速区の人物・伝説—^{おりくちしのぶ}折口信夫—

国文学者・歌人(筆名 釈迢空 しゃくちょうくう)・民俗学者として知られる折口信夫は、1887(明治 20)年 2 月西成郡木津村(浪速区鷗町 1 丁目)に生まれました。鷗町公園内に「折口信夫生誕の地」の碑と文学碑が建てられています。1953(昭和 28)年に亡くなり願泉寺に分骨埋葬されました。

『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986 *

『大阪人物辞典』三善貞司編 清文堂出版 2000 *

『浪速区史』川端直正編 浪速区創設三十周年記念事業委員会 1957 *

『折口信夫事典』西村亨編 大修館書店 1988 *

『新潮日本文学アルバム 26 折口信夫』新潮社 1985 *

『なにわ大阪再発見 第5号』梅棹忠夫監修 なにわ文化研究会編 大阪 21世紀協会文化部 2002 *

『最後の弟子が語る折口信夫』岡野弘彦著 2019 *

浪速区の民俗・文化—今宮戎神社—

天照坐皇大御神(あまてらしますすめおおみかみ)、事代主命(ことしろぬしのみこと)、素盞鳴命(すさのおのみこと)、月読命(つきよみのみこと)、稚日女命(わかひめのみこと)を祀り、社伝によると、600(推古天皇 8)年聖徳太子が四天王寺建立にあたり、西方の守護神として創建されたと伝えられています。事代主命は「えびすがみ」であり、もともと漁労民の信仰に始まり、中世に入って市神様として祀られ、大阪の商工業の発展とともに商売繁盛の守神として信仰されてきました。毎年1月9日～11日に行われる十日戎(えべっさん)は全国的に有名です。

『大阪の祭』旅行ペンクラブ編 東方出版 2005 *

『ふらり大阪 -南海沿線旅歩き-』和多田勝著 東方出版 1995 *

『十日えびす』今宮戎神社 刊年不明 *

『新修大阪市史 第2巻』新修大阪市史編集委員会/編 大阪市 1988 * p.687

『新修大阪市史 第9巻』新修大阪市史編集委員会/編 大阪市 1995 * p.767

『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986 *

『日本歴史地名大系 28 大阪府の地名 1』平凡社 1986 *
浪速区ホームページ<https://www.city.osaka.lg.jp/naniwa/page/0000001062.html>

・大阪市浪速区: 今宮戎(いまみやえびす)神社(浪速区情報>区内の名所・旧跡)